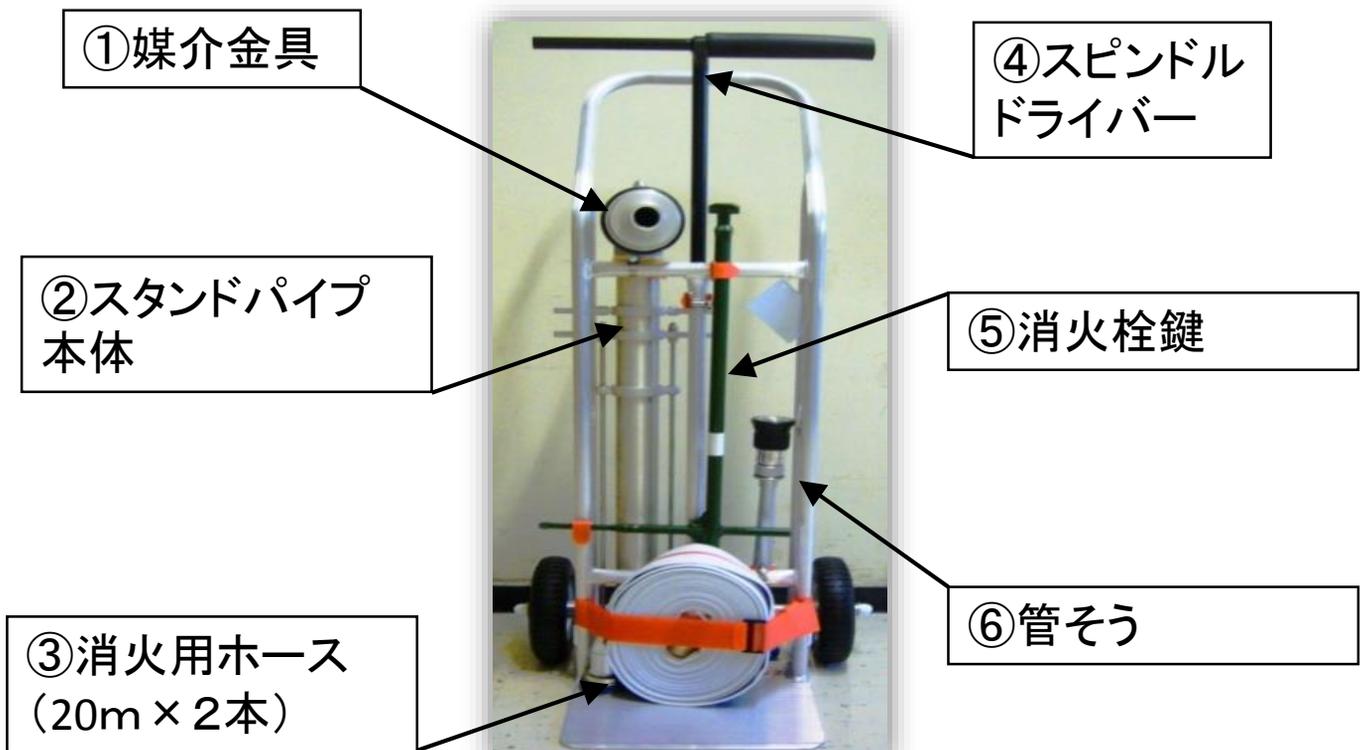


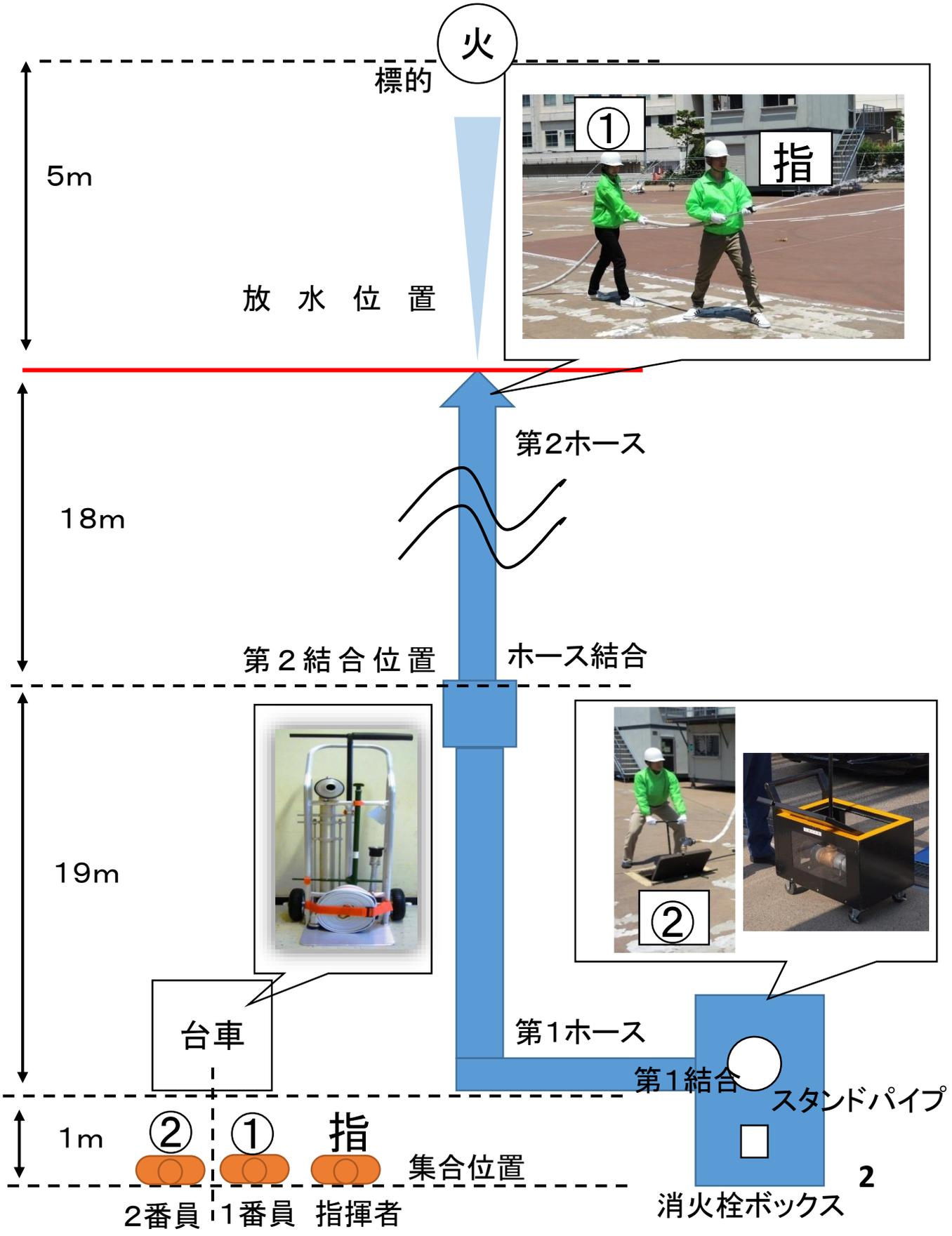
1 スタンドパイプとは

スタンドパイプは、消火栓に差込みホースと管そうを結合することで、毎分100ℓ以上の放水ができる消火用資器材です。消火用資器材としては軽量で操作も簡単で、消防車両が進入できない狭い道路の地域や木造住宅密集地域では、火元直近の消火栓・排水栓を活用した有効な消火活動ができます。スタンドパイプ本体のほか、消火栓鍵、スピンドルドライバー、媒介金具、ホース、管そう(筒先)で構成されています。



2 競技概要

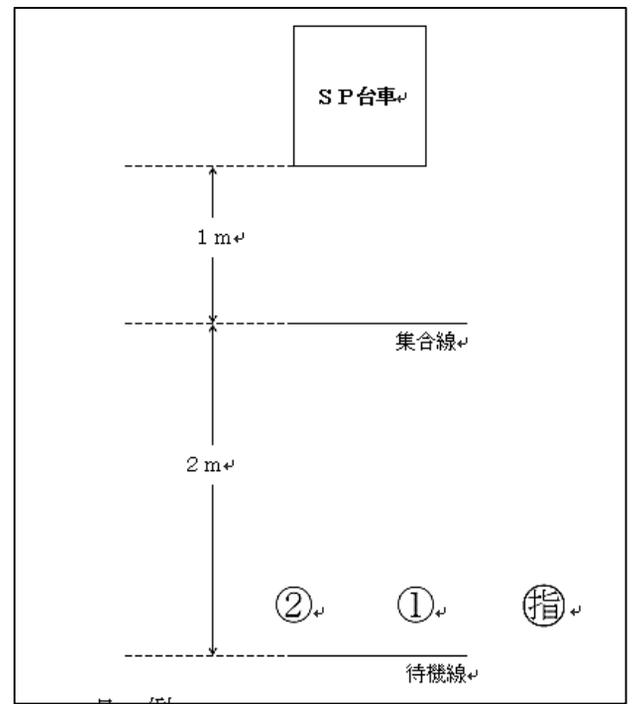
地域住民3名によるホース延長及びスタンドパイプを活用した放水を行い、審査員が各員の操作要領、動作等の行動全般について審査し、順位を決定します。



3 競技の流れ

I 入場待機

係員から合図があったら、出場選手待機位置から、図のようにスタンドパイプ台車をセットし、待機位置で楽な姿勢で待ちます。



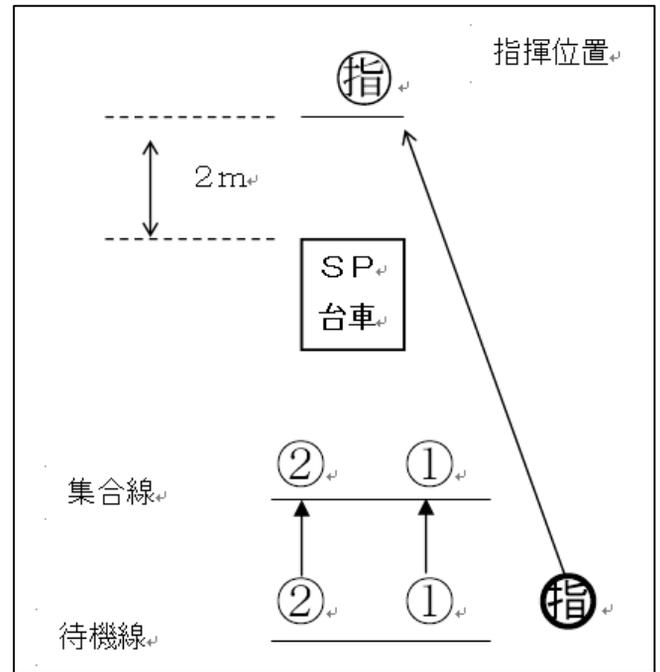
II 集合点呼

《集合》

係員の開始の合図があったら、指揮者は、駆け足で指揮位置に移動し、隊員に右手を挙げて、「集まれ」と号令します。1番員、2番員は駆け足で集合線に移動します。

《点呼》

集合したら、指揮者は「番号」と号令し、1番員、2番員はそれぞれ「1」「2」と呼称します。



【指揮者】

指揮者は「目標、前方の標的」と指示します。

次に、指揮者は「操作はじめ」の号令をかけます。

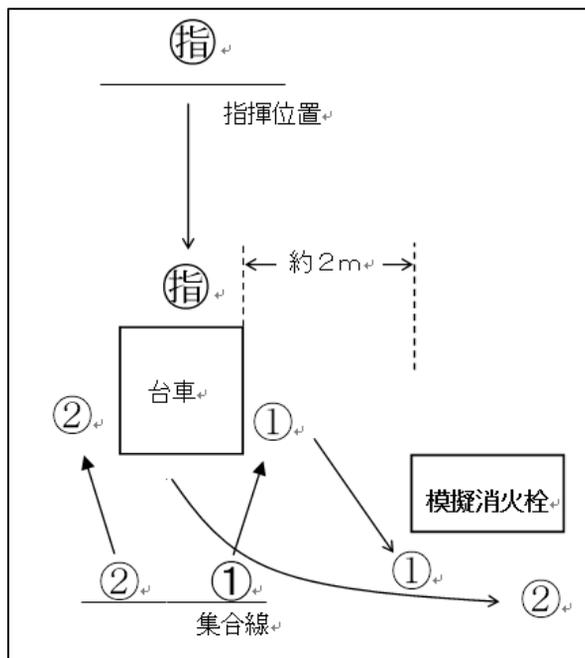
【1番員、2番員】

指揮者の合図で1・2番員は「よし」と呼称し、スタンドパイプ・スピンドルドライバー・消火栓鍵を協力してスタンドパイプ台車から取り出します。

取り出した各資機材は、1番員、2番員が協力して、模擬消火栓に搬送し、操作を行います。

【指揮者】

指揮者は、1・2番員が資機材を取り出す事を確認したら、台車に駆け足で進み、先ず両手で第2ホースを取り出し、次に管そう下部を持って取り出し、筒先金具とホースを抱えて、駆け足で第二結合位置まで搬送します。



【2番員】

2番員は、資機材を取り出した後、消火栓鍵を使い模擬消火栓蓋を開放し、「開放よし」と呼称します。

消火栓鍵は邪魔にならない場所に置きます。

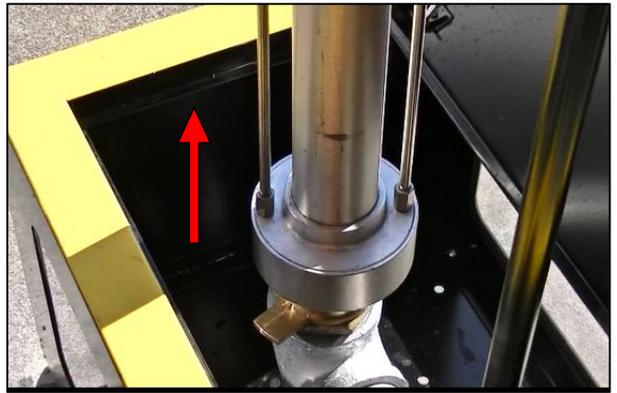
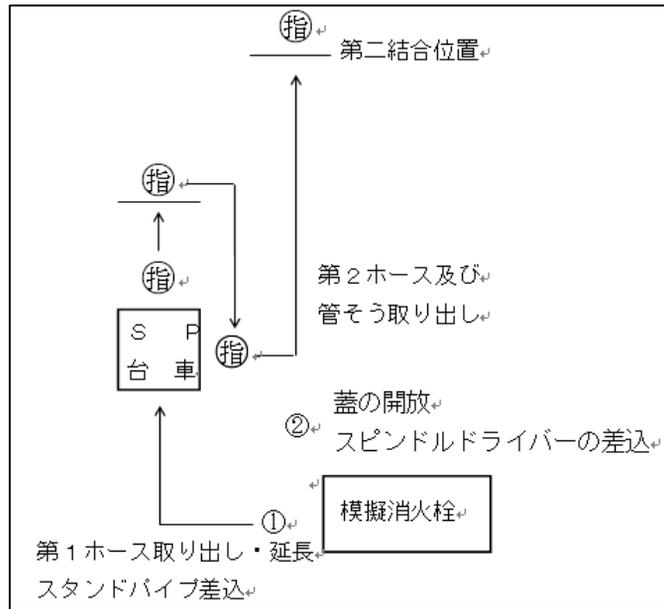
【1番員】

1番員は、放水口にスタンドパイプを差込み、結合したら、一度上方へ引っ張り、確実に接続されているか確認し「結合よし」と呼称します。

【2番員】

2番員は、スピンドルドライバーを模擬消火栓の放水弁に取り付けます。

その後、スピンドルドライバーを少し反時計回りに回して、水が出るかを確認して、スピンドルドライバーを時計回りに回して、水を止め、「通水よし」と呼称します。



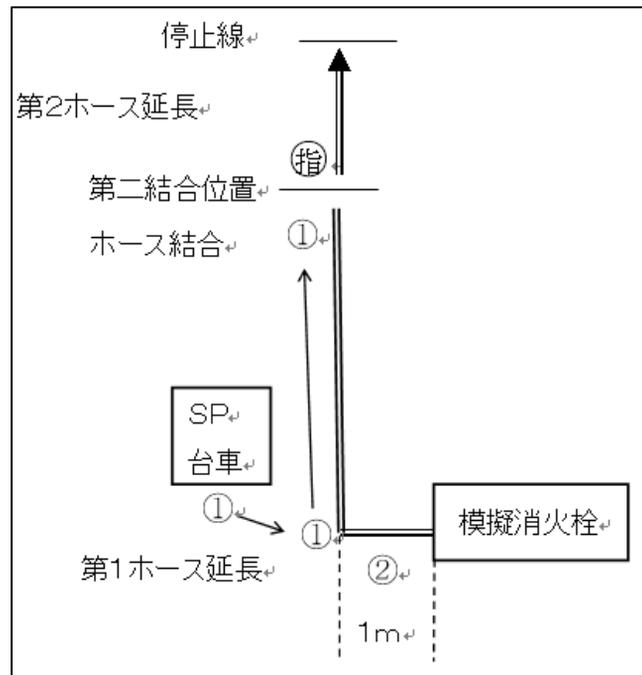
【1番員】

1番員は、取り出した第1ホースを持ち、模擬消火栓の左約1mの位置からホースを延長します。右手でメス金具を持ち、左手でホースを約1m(余裕ホース)手繰り寄せてから、メス金具をスタンドパイプの放口に結合します。結合後は、しっかり結合されているかを確認して、「結合よし」と呼称します。

【2番員】

2番員は、1番員と協力して第1ホースをスタンドパイプの放口に結合します。

1番員のホース延長まで、ホースの内側に入り、腰の位置で確保し、「確保よし」と呼称します。ホース延長後、気をつけの姿勢で待機します。



【指揮者】

指揮者は、第二結合位置に到着したら、先ず管そうを前方に置き、それから第2ホースを延長します。

その場でオス金具に管そうを結合したら、折り膝となり、約2mの余裕ホースを取ってから、立ち上がって管そうと余裕ホースを腰に構えて、1番員が来るまで待機します。

【1番員】

1番員は、第1ホースのオス金具を腰に構え、2番員の「確保よし」の合図で、駆け足で第二結合位置までホースを延長し、第2ホースのメス金具と結合します。

結合したら、指揮者に「結合よし」と合図します。



IV 放水開始①

【指揮者】

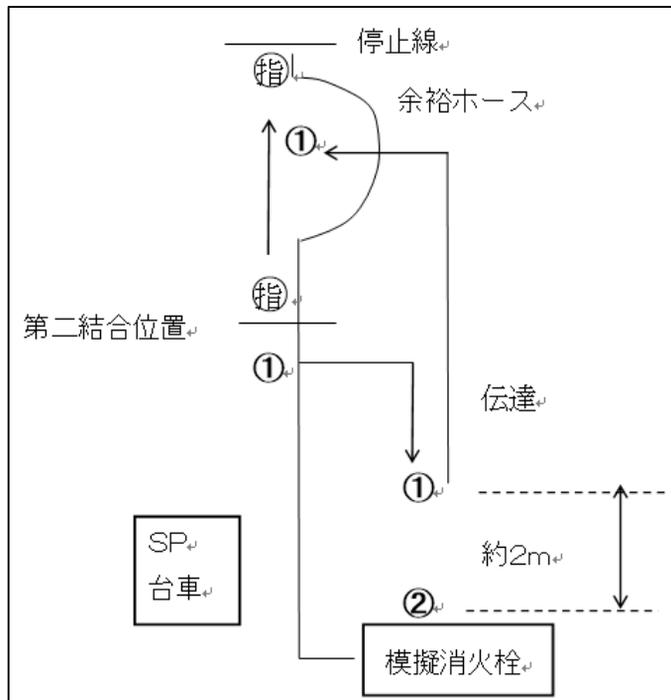
指揮者は、先ず、1番員に「放水はじめ」と号令し、1番員の復唱を確認したら、駆け足でホースを延長します。

【1番員】

1番員は、「放水はじめ」と復唱し、回れ右をして2番員の約2m手前まで駆け足で移動します。到着したら、右手を真上に挙げ、「放水はじめ」と合図します。

【2番員】

2番員は、1番員の合図に合わせて、右手を真上に挙げ、「放水はじめ」と復唱します。その後、直ちに手を降ろし、スピンドルドライバーを開放し放水を開始します。全開にしたら、「開放よし」と呼称します。



【指揮者】

停止線の約2m手前で、余裕ホースを広げてから、停止線まで進み、基本注水姿勢で待機します。

【1番員】

1番員は、2番員の復唱を確認したら、回れ右をして駆け足で指揮者左前方の位置に移動し、指揮者に正対して「伝達終わり」と報告します。

また、必要に応じてホースの曲がり角を直した後、指揮者の後方からホースを支え、「確保よし」と呼称します。

【指揮者】

指揮者は、1番員の「伝達終わり」の報告に「よし」と呼称し、火点に向けて放水を継続します。



【指揮者】停止線の約2m手前まで駆け足



【指揮者】管そう（ノズル）を開け、基本注水姿勢で待機



【1番員】「伝達終わり」
【指揮者】「よし」



【1番員】「確保よし」

V 放水停止

【指揮者】

係員から「放水停止」の合図があったら、管そう(ノズル)を閉め、1番員に「放水やめ」と号令し、1・2番員の放水停止作業を目視します。

【1番員】

1番員は、指揮者の「放水やめ」の号令に、「放水やめ」と復唱し、駆け足で2番員の手前約2mの位置まで移動します。そこで、右手を水平に挙げ、2番員に「放水やめ」と合図します。その後、2番員の復唱を確認したら、回れ右をして正面を向いて気をつけの姿勢で待機します。

【2番員】

2番員は、1番員の「放水やめ」の合図に右手を水平に挙げて復唱します。その後、スピンドルドライバーを操作し、放水を停止し、「閉鎖よし」と呼称します。その後、正面を向いて気をつけの姿勢で待機します。

【指揮者】

2番員から「閉鎖よし」の合図があったら、残水処理(筒先を開放)を行い、管そうを床に置き、前方を向いて、気を付けの姿勢で待機します。



【指揮者】

指揮者は、係員から「収納開始」の合図があったら、回れ右をして隊員に正対し、「おさめ」と号令します。

指揮者は、管そうを離脱し、台車に駆け足で移動し、管そうを収納します。

【1・2番員】

1番員、2番員は指揮者の「おさめ」の号令に「よし」と呼称し、協力して資機材を収納します。まず、第1ホースを外して、地面に置きます。

次にスタンドパイプを模擬消火栓から取り外し、模擬消火栓の蓋を閉じたら、「閉鎖よし」と呼称します。

その後、1番員、2番員が協力して、各資機材を模擬消火栓付近の床に並べます。

【指揮者】

台車位置まで戻ったら、管そうを床に並べた後、指揮位置に移動し、気をつきの姿勢で待機します。

【1・2番員】

資機材の設置を確認したら、1番員、2番員は、集合線に移動して、気をつきの姿勢で待機します。



【指揮者】回れ右し「おさめ」と号令



【1・2番員】協力して資機材を収納します



【2番員】「閉鎖よし」



【1・2番員】集合線で待機します
【指揮者】指揮位置に移動します

Ⅶ 点検報告、解散

【指揮者】

指揮者は、隊員が収納を完了し、集合線に整列した事を確認したら、「点検報告」と号令します。

また指揮者は、報告にそれぞれ「よし」と呼称します。

【1・2番員】

1番員、2番員は、それぞれ「○番員異常なし」と順に報告します。

【指揮者】

指揮者は、隊員に向かって「わかれ」と号令します。

【1・2番員】

1番員、2番員は指揮者に挙手注目の敬礼をし、指揮者がこれに挙手注目の答礼を行って、解散します。

以上で終了です。

指

指揮位置



集合線

② ①

待機線

